

ひだまり

令和7年7月1日



私は、生徒の朝の会や授業の様子をのぞきながら、お決まりのツバメの巣を観察に行くことを日課としています。ひなが育つ姿って、もっと鳴き声が聞こえてにぎやかなイメージをしていましたが、この巣のひなについてはいつ見に行っても全く鳴き声が聞こえず、不思議に思っていました。それが6月27日、ついに聞くことができました。音をたてずにそっと近寄り、窓ガラス越しに見上げると、元気に鳴いている姿がありました。それがこの画像です。そして、いつものように、そーっと窓を開けると、ピタッと鳴き声が止み、みんな一斉に体を低くして隠そうとするのです。この時、これまで鳴き声を聞いたことがなかったのは、外敵から身を守ろうとした行動だったことを知りました。小さかったひなたちも、自立して生きていくために、生活のすべを身に付けていることに感動している今日この頃です。

「初めての交流を楽しみに」

右の画像は、7月に実施予定の「タイの中学生との交流」に向けて、オンラインで現地の先生と打ち合わせしているところです。お互いにコーディネーターの先生に助けてはもらうものの、この日は2時間の時差について共通理解が足らず、開始時間にバタバタしました。無事に始まってしまえば英語での説明が続き、ところどころ何とか聞き取れた英単語に大きくうなずいたり、理解できなくてもタイミングを合わせて笑ったりとなかなか困難な時間でしたが、タイの先生方の熱意はよく伝わり、1回目の交流の日が楽しみになってきました。



「気持ちよく生活できるように」

今日も生徒が安全に、快適に走ることができるよう、体育の授業や部活動の合間に、グラウンドを整備していただいています。洗面所にそっと飾られた右の画像のお花もそうですが、平中生が気持ちよく生活できるように、常に環境を整えてもらっていることへの感謝を忘れず、7月も元気に学校生活を送りたいものです。

